# 利友会環境アクション表彰 結果発表

戸田建設株式会社 環境エネルギー委員会

# 受賞作品決定

2022 年度 利友会環境アクション表彰 大賞・準大賞は以下に決定しました.

# 【大賞】

クリーンエネルギーを使用し CO2・NOX・PM の削減を目指す

株式会社泰成重機 佐藤 誠

資材センターにおいて CO2 排出量の削減その他

加向建設株式会社 渡会 武則・小川 茂之

# 【準大賞】

作業所における環境配慮型燃料の利用他

向井建設株式会社 山崎 孝一·備後 雅弘

環境配慮型燃料の使用と熱中症対策

株式会社朝日組 中務 了夫

自社の脱炭素化への取組について

株式会社中電工 岩崎 泰典

# 応募概要

各支店の利友会事務局を通して、利友会加盟企業に応募の依頼をお願いしました。 結果として 2022 年度 初年度の応募は 48 作品となりました。支店別の内訳は以下になり ました。

東京	首都土	千葉	関東	横浜	大阪	名古屋	札幌	東北	広島	四国	九州	計
6	1	1	2	4	3	6	11	0	5	6	3	48

# お知らせ

来年度も開催予定です。4月初旬から募集のお知らせします。環境配慮型燃料の利用だけでなく多方面で環境活動を募集しますので、引き続き応募の方よろしくお願い致します。

事務局 イノベーション推進統轄部 環境ソリューション部 矢吹 慎悟 mail:shingo.yabuki@toda.co.jp

### 利友会環境アクション表彰 大賞

#### 東京支店

企業名 株式会社 泰成重機 担当者 佐藤 誠

テーマ クリーンエネルギーを使用し CO2・NOX・PM の削減を目指す

#### ◆ 活動内容

5 作業所にて GTL 燃料 35,416Lを利用 GTL 燃料によって CO2 排出削減、煤が出ない 易生分解性(無毒)を実践 PR 活動としてクローラクレーンの後方にクリーンエネルギーを使用しているとのステッカを貼付

#### ◆ 活動効果

GTL 燃料の使用により CO2 の排出削減 7.79t-CO2 杉の木換算 556 本分

渋谷駅桜丘口再開発	14, 249L
東洋大学赤羽台新校舎3期	12, 949L
千葉県総合救急災害医療センター	4, 785L
都立大日野 6 号館新築	986L
草加市新庁舎	2, 447L
合  計	35, 416L



GTL 稼働 クローラクレーン

# 利友会環境アクション表彰 大賞

#### 名古屋支店

企業名 株式会社 加向建設株式会社

担当者 小川 茂之 渡会 武則

テーマ 使用済み型枠工事木材を再生可能エネルギーの燃料に使用し循環型 社会を維持継続するために CO2 排出量ゼロを目指す。エコアクション 21 活動の推進他

#### ◆ 活動内容

- ①型枠加工場(資材センター)においてフォークリフトをバッテリー式のフォークリフト に入替え CO2 排出量の削減につなげた。
- ②東海地区型枠工事協同組合での合法木材を使用している認証制度を活用し、合法的に 伐採された木材を使用して作られた型枠用合板だけを木質バイオマス発電の燃料 チップとして使用。それにより排出される CO2 は再び森林に吸収されるという循環 型社会に沿った活動を推進。

#### ◆ 活動効果

- ①バッテリー式フォークにて 1 年間で 4.6t-CO2 の排出削減
- ②バイオマス発電で利用するため合法木材による燃料チップ化に 3,000t の木材を供給。 石炭に換算すると 2,100t 分となり化石燃料による CO2 の排出を削減した。

# 利友会環境アクション表彰 準大賞

#### 東京支店

企業名 向井建設株式会社 担当者 山崎 孝一・備後 雅弘 テーマ 作業所における環境配慮型燃料の利用

- ◆ 活動内容
- ①2021 年 6 月より DPL 久喜宮代の現場において GTL 燃料を利用し、2022 年 1 月からは 区立お茶の水小学校・幼稚園改築工事の現場で使用中

また、免税軽油を使用する自社機械は環境配慮型燃料の GTL 燃料が使用できない為燃焼促進剤の K-S1 を 2022 年 3 月から使用

- 今後は、より多くの現場にて GTL 燃料と K-S1 の導入ができるように積極的に取り組む
- ②作業員3000名を対象に5月頃から熱順化の教育を行い、空調服の着装を推奨している。
- ③重機オペレーター、ダンプ運転手を対象に省エネ運転講習を行い、会社全体としての燃費向上、環境配慮についての意識を強化した。
- ◆ 活動効果
  - ①2021 年度 GTL 燃料使用量: 5,638.2L (2022 年度 GTL 燃料使用量: 1,059L K-S1 使用量: 9.58L)
  - ②空調服 61 着購入
  - ③ダンプ運転手5名が省エネ運転講習を受講



K-S1 利用状況

# 利友会環境アクション表彰 準大賞

#### 大阪支店

企業名 株式会社 朝日組 担当者 中務 了夫 テーマ 環境配慮型燃料の使用と熱中症対策

- ◆ 活動内容
  - ①長岡京市新庁舎建設工事において、掘削用油圧ショベル全ての重機(0.7 m<sup>2</sup> 2 台、0.3 m<sup>2</sup> 3 台、0.1 m<sup>2</sup> 1 台)に GTL を利用し、コストは 8%程度割高では有ったが環境に配慮した作業計画が実施できた。

元植柳小学校跡地活用計画におけては掘削用油圧ショベルに、燃料添加剤 (K-S1)を活用した。重機は 0.7 ㎡ 2 台、0.2 ㎡ 2 台、0.1 ㎡ 4 台に利用

- ②夏季における作業時において、熱中症及び暑さ対策として空調服を支給、合わせて 2021 年はネッククーラー(EVO)を支給し、首筋等を冷やすことにより暑さ対策を実施した。
- ◆ 活動効果
  - ①掘削期間中 GTL を約 30,000L 使用し、2.4t-CO2 の排出を削減しました。 掘削期間中 K-S1 を使用し 8%の軽油使用量を低減できた。
  - ②夏季期間中において熱中症は発生しなかった。



GTL 燃料 利用状況



K-S1 利用状況

# 利友会環境アクション表彰 準大賞

#### 広島支店

企業名 株式会社 中電工 担当者 岩崎 泰典 テーマ 自社の脱炭素化への取組について

#### ◆ 活動内容

①設置可能な全事業場への太陽光発電設備設置 当社の設置可能な51か所の事業場へ自家消費を目的とした太陽光パネルを2021年度~ 2022年度にかけて設置し、再生可能エネルギーを活用することによりCO2の排出量の削減を図る。

②今後、自社建物の建替え及び改修については ZEB 化を前提に計画を行う。 2019 年に戸田建設にて、岡山統括支社をZEBReadyで新築をしました。これを期にZEB プランナーを登録し、お客様へZEB化を提案し脱炭素化に貢献するとともに、自社の2事 業場(金川配電センター、呉配電センター)を「ZEB」化した。

#### ◆ 活動効果

- ①2021 年度に 11 事業場、合計 574.36kW、2022 年度に 40 事業場、合計 1,691.68kW の太陽光発電パネルを設置し、2022 年度より全 2,266.04kW が稼働予定。 年間 2,349,194kWh の電力を再生可能エネルギーで賄い、1,320t の CO2 排出量を削減する計画
- ②今後の計画においても新築・改修についてZEB化を計画していく。



岡山統括支社 全景